

# News Letter

## ニュースレター

### 1 薬剤師育成における医療安全教育FDを開催

2026年1月10日、慶應義塾大学芝共立キャンパスにおいて、「薬剤師育成における医療安全教育FD」を開催しました。薬剤師、薬学部教員を中心に、医療安全教育に関心を持つ31名が参加しました。

薬学教育モデル・コア・カリキュラムにおいて、医療安全教育は重要な学修事項として位置づけられていますが、具体的な教育内容や教授方法は各大学・実習施設に委ねられており、教育者間での情報共有の機会は限られているのが現状です。本FDは、医療安全教育の実践例や課題を共有し、将来的な標準的教育コンテンツのあり方について議論することを目的として企画しました。

当日は、PSECの活動紹介や医療安全教育の国際的動向に関する講演に続き、World Café形式によるグループディスカッションを行いました。参加者は少人数のグループに分かれ、「現在行っている医療安全教育の工夫」「教育を進めるうえでの悩みや課題」などをテーマに意見交換を行いました。ラウンドごとにメンバーを入れ替えることで、多様な意見が共有され、活発な対話が行われました。

参加者からは、「他大学、他施設の具体的な取り組みを知ることができた」「研修・教育に使用できる模擬事例やロールプレシナリオなどのコンテンツがあれば嬉しい」など声が聞かれ、有意義な学びの場となりました。



**PSEC FD Series 6**

医療安全教育センター(PSEC)  
Patient Safety Education Center for Multiprofessionals (PSEC)

薬剤師育成における医療安全教育FD #1

薬剤師医療安全教育の標準化に向けて  
～現状と課題の共有～

対象：全国の薬剤師、薬学教育に関わっている方

目的：医療安全教育について、薬学においては薬学教育モデル・コア・カリキュラムに示された目標が定められている。実際の教育方法は各大学に委ねられ、それぞれ工夫があることとされるが、教育内容や教授方法は異なる。本FDでは、それぞれの大学における教育方法と教員が感じている課題を、参加者間で共有し、将来的に共通する標準的教育コンテンツはどうかを議論する。

2026/1/10 Sat 13:00～16:00

開催場所：慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパス460大講堂

開催形式：World Café #2

定員：30名

事前申し込みは Google Formから  
<https://forms.gle/WMD39azwU1b7qAF39>

申し込みは  
お申し込み  
お申し込み

申込期限 12/19

講演1「PSECの活動と今後の展望」  
講師：群馬大学薬学人材育成のための医療安全教育センター(PSEC) センター長  
群馬大学大学院薬学専攻薬学専攻 藤原 真之

講演2「医療安全教育の国際的動向と群馬大学の事例」  
講師：群馬大学薬学人材育成のための医療安全教育センター(PSEC) 顧問  
群馬大学学務部 小川 隆之

World Café 説明  
講師：慶應義塾大学 薬学部 医療安全・社会連携センター医療安全部門 教授 中村智徳

World Café (20分×3ラウンド + 発表20分)

進行：慶応義塾大学 薬学部 薬学科 助教 青島 達

参加費無料 事前申込

注 World Caféは、テーブルを7～8人組に設け、15分間隔に1ラウンドを繰り返して行われます。

主催：群馬大学薬学人材育成のための医療安全教育センター  
共催：群馬大学大学院薬学専攻薬学専攻 藤原の育、安立学  
群馬大学大学院薬学専攻薬学専攻 医学教育開発学  
群馬大学薬学教育推進センター  
後援：一般社団法人日本薬業協会、一般社団法人  
日本医療学会、一般社団法人日本病院薬師会、  
一般社団法人日本薬業教育学会

群馬大学薬学人材育成  
のための医療安全教育  
センター  
PSEC  
PSEC  
PSEC

FDは Faculty Development (院内研修) 方法をはじめとする研究や研修を大学中として展開することを目指します。

## 2 小児診療における安全を考えるシンポジウムを開催

2026年2月11日、当センターと群馬大学医学部附属病院小児科、医療の質・安全管理部の共催による『小児診療における安全を考えるシンポジウム』を開催しました。本シンポジウムは、2025年WHO「世界患者安全の日」のテーマである“Safe care for every newborn and every child: すべての新生児と子どもに安全なケアを”にちなんだ企画であり、当日は全国から約220名にご参加いただきました。

シンポジウムでは、順天堂大学医学部附属順天堂医院の田中恭子先生から「医療における子ども憲章と療養支援」について、国立国際医療センター小児科ホスピタル・プレイ・スペシャリストの色川真幸氏から「ホスピタル・プレイ・スペシャリストと安全で楽しい療養環境をつくる活動」について、前奈良県医療総合センター看護師の濱谷あさひ氏から「子どもに優しい医療を目指して～総合病院におけるプレパレーションとディストラクション～」について、それぞれの立場からご講演をいただきました。また群馬大学の滝沢琢己先生から、群馬大学医学部附属病院の小児病棟思春期ルーム「Teens Terrace」についてご紹介がありました。

受講後アンケートでは「小児の医療安全を学ぶ機会が少ないため勉強になった」、「子ども

憲章を現場の教育に生かしていきたい」、「自施設でも実践していきたい」といった声をいただきました。小児診療における安全を、子どもの権利擁護や療養支援について幅広い視点から検討する機会となり、学びの多いシンポジウムとなりました。

World Patient Safety Day  
2025年度 WHO世界患者安全の日

医療安全教育FD  
小児診療における安全を考えるシンポジウム  
2026/2/11 (水・祝) 13:00~

開催場所: 群馬大学昭和キャンパス 基礎大講堂  
および オンライン (Zoom)  
開催形式: ハイブリッド開催  
その他: 参加費無料、事前申し込み

本シンポジウムは、職種や専門領域を問わずどなたでもご参加いただけます。ぜひ多くの方にご参加いただくと幸いです。

講演 I: 「医療における子ども憲章と療養支援」  
田中 恭子 氏  
順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科・思春期科 准教授

講演 II: 「ホスピタル・プレイ・スペシャリストと安全で楽しい療養環境をつくる活動」  
色川 真幸 氏  
国立国際医療センター ホスピタル・プレイ・スペシャリスト

講演 III: 「子どもに優しい医療を目指して～総合病院におけるプレパレーションとディストラクション～」  
濱谷 あさひ 氏  
前 奈良県総合医療センター 看護師

2025年世界患者安全の日のテーマである「Safe care for every newborn and every child: すべての新生児と子どもに安全なケアを」に基づき、本シンポジウムでは、小児診療に関する医療安全の現状と課題を多職種の視点から学び、それぞれの現場や日常の関わりの中で、安全なケアを提供するための視点を共有し、子どもを守る安全文化を育むことを目的としています。

事前申し込みは Google Formから  
<https://forms.gle/YgP5RIAN1KbRwH7Z>

共催: 群馬大学医学部附属病院 小児科  
群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部  
群馬大学多職種人材育成のための医療安全教育センター (PSEC)  
後援: WHO 多職種人材育成センター、プレイ・協会



発行



多職種人材育成のための医療安全教育センター(PSEC)  
<https://psec.med.gunma-u.ac.jp/>



PSECでは、ホームページにおいて、医療安全教育手法に関する動画や、資料等を提供しています。ぜひご覧ください。